

『テント下脳卒中患者の静止立位時の左右足圧中心位置 に關与する要因 -後ろ向き研究-』

【目的】 脳幹や小脳などのテント下の脳卒中後には lateropulsion という不随意に左右一側に身体が倒れてしまう現象が起こることがあります。この現象には前庭機能の左右非対称性を表すとされる視覚的な垂直認知の障害が關与することが報告されています。しかしながら、lateropulsion には他にも身体的な垂直認知の障害や下肢機能の左右差なども關与する可能性があります。先行研究ではこれらの要因を含めた解析を行っていません。そのため、本研究はテント下の脳卒中後の lateropulsion の程度(静止立位時の左右重心位置)に視覚的な垂直認知、身体的な垂直認知、下肢機能の左右差が關与するかどうかと、その程度を調べることを目的とします。

【期間】 承認後～2024 年 3 月 31 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2015 年 10 月から 2021 年 5 月まで当院へ入院されていたテント下の脳卒中患者さんで、重心動揺検査、視覚的と身体的な垂直認知の検査を行っていた患者さん。既往に脳卒中などの神経疾患や末梢前庭疾患、整形外科的な手術をされていた方は対象に含めません。

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、既往歴、重心動揺検査や視覚的と身体的な垂直認知の検査の結果、

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受
けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 リハビリテーション部 ・ 理学療法士

研究責任者 植田 耕造